

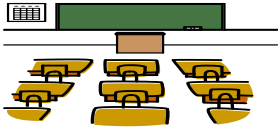


光が丘第二中学校 学校だより

TEL 3976-9202 FAX 5383-3608

<http://www.hikarigaoka2-j.nerima-kyo.ed.jp>

令和3年4月30日



## 対話することの重要性

校長 山田 美鈴

今年度より中学校も新学習指導要領完全実施です。新学習指導要領のキャッチフレーズともいえる「主体的・対話的で深い学び」のまさに「対話力」は、世界のあらゆる教育機関が、これからの社会で最も重要なスキルであると認識しています。知識やあふれる情報をいかに有効に活用し対話を通して伝えていけるのか、そういったコミュニケーション力を高めていく場所が学校であり家庭です。

未だにコロナウイルスの猛威は収まる目処が立っていませんが、コミュニケーション力を高めていくという重要な意義となる学校生活が、臨時休業期間などによって途切れないことを祈るばかりです。

さて子供たちのコミュニケーション力（特に対話力）を高めていくには、具体的にどのようなことが大切でしょうか？緊急事態宣言期間のゴールデンウィークをこれから迎えるからこそ、大切にしたいことを述べさせていただきます。（かなり私見となりますが・・・）

### ① 問いかけはオープン・クエスチョンで対話を楽しむ

答えが2択（イエスかノーといったクローズド・クエスチョン）ではなく、いくつもの回答可能なオープン・クエスチョンにより、対話は広がります。

### ② 傾聴する・待つ

大人のペースに合わせようとせず、心にゆとりをもって子どものペースを大切にします。質問を投げかけてもすぐに答えが返ってこない場合もありますが、じっくり待つ姿勢をもち、ありのままを受け止めることが大切です。

### ③ 正解ばかりを求めない・理想を押し付けない

何を言っても傾聴してくれるという安心感があると、想像力は無限に広がっていきます。豊富に考えや思いを描かせ対話をもとに思考力・判断力・表現力も高めていくことができます。大人の価値観を押し付けてしまうと、求められている正解ばかり探そうとしてしまうため、対話の広がりを阻むこととなります。

### ④ 肯定的・発展的対話を心掛ける

トロント大学生命倫理学者ケリー教授は「ネガティブな感情は最も伝染しやすい」と述べています。周囲の大人が否定的・批判的だと自己肯定感の低い子供になりやすく、対話もネガティブな傾向になるとのことです。

学校では生徒の良さを伸ばせる環境づくりに努め、対話によるコミュニケーション力向上に努めてまいります。ゴールデンウィークは「ステイホーム」で、ぜひ家族そろっての対話を楽しんでいただきたいと思います。

## 対面式・生徒会オリエンテーション

4月8日(木)、対面式を行いました。また、4月9日(金)には、生徒会オリエンテーションを行いました。新型コロナ感染を防ぐため Zoom で行いましたが、生徒会役員が中心となり学校紹介を行いました。各部活動からは、予め録画した練習風景の動画を映しながら、各部部長がメッセージを送りました。

新入生の入部も本格的に始まり、新たな風が吹き込んでいます。今後の学校生活が楽しみです。



## 学校掲示板の設置（正門）

学校からの連絡や告知を目的に、正門脇に掲示板を設置しました。今後、学校の取組や生徒の活躍等も掲示物等で、地域の皆様にお知らせしてまいります。

なかなかコロナウイルスの影響により、校内の様子をお伝えしにくい状況ですが、学校ホームページや学校掲示板を利用して、少しでも地域や保護者の皆様に発信していけるよう工夫してまいります。

ぜひご意見等もお寄せください。



## 温度計付き消毒液噴霧器

新型コロナウイルス感染対策として、温度計付き自動アルコール噴霧器を正面玄関に設置しました。主に、来校者用の感染対策、校内の各行事用として使用しますが、災害時の避難場所での感染対策としても活用していきます。感染予防にご協力ください。



## 離任式

4月28日(木)、Zoom による離任式を行いました。ご退職や異動された教職員の紹介があり、代表生徒から感謝の言葉と花束を贈りました。感謝の言葉は最高の贈り物となりました。離任された方々のこれまでのご指導に心より感謝いたします。今後のますますのご活躍を祈念いたします。

## 連絡用携帯電話設置について

学校に、家庭との連絡用回線として「連絡用携帯電話」を4月30日より設置いたします。休業日に新型コロナ感染等による緊急連絡が必要な場合には、下記の番号に連絡ください。

- ・休業日緊急連絡用 080-7249-2194
- ・相談室専用携帯電話 080-7249-2467 に変更となりました。ご承知おきください。